

令和5年度事業報告書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

特定非営利活動法人子育てほっとねっと

1 事業実施の成果

令和5年5月8日の新型コロナウイルスの5類への移行以降、さまざまな制約が徐々になくなり、年度末には多くの活動が通常通り行えるようになった。

令和5年度は、令和4年度に法人の活動テーマに掲げた「産前からの切れ目のない支援～妊娠中から地域とつながりがもてるように～」について引き続き考えながら、それぞれの事業をさらに充実させていくことにした。

① 子育て支援事業

那須塩原市ファミリーサポートセンターは、厚崎公民館に拠点を移し2年目を迎えた。問い合わせや依頼内容も多様化し、預かりや送迎のサポートをするだけでなく家庭のそのものの支援が必要なケースも出てきており、関係諸機関と連携しながら対応している。年2回のサポート会員養成研修は、オンラインから対面の形式へと戻り、2月実施の養成研修は関係諸機関の協力を得てはじめて土曜日に開催することができ、受講者から好評であった。3月に委託契約が満了したが、令和6年度から5年間の再委託が決定している。

「ま～る」「ほっぺ」の2つの地域子育て支援拠点事業も、約3年間さまざまな制約のなか活動を続けてきたが、5月8日以降、「安心して利用できること」と「いつでも気軽に利用できること」の両方をかなえることができるよう十分考え、「ま～る」「ほっぺ」それぞれに合う形で活動してきた。ひろばを利用してのファミリーサポートセンターの預かりも本格的にスタートし、利用者に好評である。またファミリーサポートセンター事業を知ってもらいきっかけにもなっている。「ほっぺ」は3月に委託契約が満了したが、令和6年度から5年間の再委託が決定している。

「みんなのテーブル2」は、知音食堂の閉鎖に伴い、那須塩原市市民活動センターへと場所を移して1年がたった。屋外も自由に使わせてもらうことができ、小さな子どもたちだけでなく小学生も来てくれるようになり、年齢を問わないみんなの交流の場になりつつある。

家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」では、7月に関東エリアのオーガナイザー研修会をホームスタートなすしおぼらが幹事となって市内で開催した。一部を公開講座として広く参加を呼びかけ、ホームスタート事業について知ってもらいきっかけにできた。関係諸機関からの問い合わせ等も増え、順調に子育て家庭への訪問活動を続けている。

② 託児・保育事業

年間契約の託児の他、新型コロナウイルス感染拡大中にはほとんどなかったイベント、講演会時の託児依頼があり、新規の依頼もあった。

③ 子育てに関する情報発信事業

令和5年度も子ども・子育て会議、都市計画審議会、生涯学習市民会議、市民大学運営委員会、社会福祉協議会評議員会、市民活動センター利用者協議会等の委員の委嘱があり、活動のなかから見えてきた課題等、子育て支援の見地から率直に意見を述べてきた。他団体の視察研修の受け入れ、研修の事例発表、ゲストスピーカーなども積極的に務めた。

令和6年度に作成した子育て情報リーフレット「めでる」を十分活用し切れなかったところが課題点である。

④ 講座・研修事業

実施なし

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
子育て支援事業	① 那須塩原市ファミリーサポートセンターの運営	通年	センター事務所	スタッフ5名	地域住民	7471
	② 那須塩原市つどいの広場「ま～る」の運営	通年	つどいの広場	スタッフ6名	地域住民	6438

